

2026 EYSピアノコンクール 概要

— 世界へ羽ばたく若きピアニストのために —

EYSピアノコンクールは、将来国内外のコンクールや音楽大学進学、国際的な舞台での活躍を目指すすべての若いピアニストのための育成型コンクールです。

本コンクールでは、順位や結果のみを競うのではなく、演奏技術、音楽性、表現力の向上を支援し、一人ひとりの可能性を広げることを目的としています。

一次審査・二次審査では審査員全員による詳細な講評を提供し、本選では実演の機会を通じて、次なる成長へつながる学びの場を創出します。

また、優秀な参加者には「EYSピアノコンクール ディプロマコース」への特待制度を設け、コンクール後も継続的な育成・学習機会を提供します。

EYSピアノコンクールは、「コンクールで終わらない育成」をコンセプトに、若い音楽家たちの未来を支援します。

1. 本コンクールの特長

■ 入賞者・特待生制度

本選において優秀な成績を収めた方には、EYSディプロマコース受講費用の免除・割引など、今後の研鑽を支援する各種特典を授与いたします。

※ディプロマコースの募集要項はP9～を参照してください。

■ 専門家3名による詳細な個別講評

当コンクールでは、全審査で審査員全員による個別講評を、可否に関わらず参加者全員へお渡しいたします。

演奏技術のみならず、音楽性、表現力、作品理解など、多角的な視点からのフィードバックを受けることで、今後の学習や演奏活動における貴重な指針となります。

■ 本選は代官山会場での実地審査

二次審査通過者は、東京・代官山の会場にて本選へ進出いただきます。優れた音響環境のもと、実演ならではの緊張感と集中力の中で、日頃の成果を発揮していただける舞台をご用意しております。

2. 審査員紹介（敬称略）

■ 審査員長

赤松 林太郎（ピアニスト）

大阪音楽大学教授

洗足学園音楽大学客員教授

宇都宮短期大学客員教授

平成音楽大学客員教授

Budapest International Piano Masterclass & Festival 芸術監督、
カシオ計算機株式会社アンバサダー

■ 審査員

春畑 セロリ（作曲家）

東京藝術大学卒業

舞台・映像・出版・イベント等における音楽制作、作編曲、演奏、執筆、音楽プロデュースなど
幅広く活動

■ 審査員

ギグラ・カツアラヴァ（ピアニスト）

東京音楽大学特任教授

元パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

ラフマニノフ国際ピアノコンクールJAPAN 審査委員長

クタイシ国際ピアノコンクール「M.バランチヴァーゼ」（ジョージア）審査委員長

エコール・ノルマル音楽院（パリ）同窓会 日本支部 特別顧問

2025年度ピティナ特別指導者賞受賞

3.審査方法・動画提出規程

■ 一次審査（動画審査）

- 動画提出による審査を行います。

【講評制度】

- 審査員全員による詳細な個別講評を、可否に関わらず参加者全員へお渡しいたします。

【動画提出規程】

- 演奏開始から終了まで、編集・カットのないノーカット動画であること
- 演奏者の「顔」「手元」「全身」が確認できる画角で撮影すること
- 2026年7月1日以降に撮影した動画であること
- YouTube等へアップロードする場合は「限定公開」に設定すること
- 「非公開」設定の動画は審査対象外となります

■ 二次審査（動画審査）

一次審査通過者を対象に実施します。

【講評制度】

一次審査と同様、審査員全員による詳細な個別講評をお渡しいたします。

【動画提出規程】

一次審査と同一の規程を適用します。

■ 本選（実技審査）

二次審査通過者を対象に実施します。

【会場】

東京・代官山スタジオ

世界的ピアノブランド「スタインウェイ」のグランドピアノを備えた会場にて実施いたします。
※詳細は本選進出者へ個別にご案内いたします。

【足台・補助ペダルについて】

主催者側でもご用意いたしますが、各自でお持ち込みいただくことも可能です。
設置および調整は、付き添い者（保護者・指導者等）が行ってください。

【服装について】

本選では、ステージにふさわしい服装（ドレス・スーツ等）での演奏を推奨いたします。

4.演奏規程

■ 暗譜について

- 原則として、すべての審査において暗譜で演奏してください。
楽譜を見ての演奏は不可とします。

■ リピート（繰り返し）について

- 制限時間内であれば自由とします。

■ 曲目について

一次審査

- 自由曲（演奏時間の制限あり）
※詳細は「6.募集部門および課題曲規程」をご参照ください。

二次審査

- 課題曲
※詳細は「6.募集部門および課題曲規程」をご参照ください。

本選

- 一次審査で演奏した曲と二次審査で演奏した曲を、続けて演奏してください。
- 曲順は自由とします。
- 2曲続けて演奏してください。
- 演奏のカットは認めません。
- 演奏時間の上限は設けません。

5. 審査料（オーディション費用）

各ステージの審査料は以下の通りです。

部門	一次審査（動画）	二次審査（動画）	本選（代官山スタジオ）
小学1～2年部門	7,000円	9,000円	10,000円
小学3～4年部門	8,000円	10,000円	11,000円
小学5～6年部門	8,000円	10,000円	12,000円
中学生部門	9,000円	11,000円	14,000円
高校生部門	10,000円	12,000円	16,000円
23歳以下部門	12,000円	14,000円	18,000円

※二次審査は一次審査通過者、本選は二次審査通過者のみ参加できます。

6. 募集部門および課題曲規程

部門区分は「2026年4月1日時点」の学年・年齢を基準とします。

部 門	一次審査	二次審査	本選
小学1,2年部門	2分以内 自由曲	『バロック・古典派の小品（メヌエットなど）』より 任意の1曲	一次審査および 二次審査で 演奏した2曲
小学3,4年部門	3分以内 自由曲	『ブルグミュラー 25の練習曲』、または『ギロックの小品』より 任意の1曲	
小学5,6年部門	3分以内 自由曲	J.S.バッハ『インベンション』、または古典派ソナチネの第1楽章より 任意の1曲	
中学生部門	4分以内 自由曲	J.S.バッハ『シンフォニア』、または『古典派ソナタ（モーツァルト・ ハイドン・ベートーヴェン）』の第1楽章より任意の1曲	
高校生部門	5分以内 自由曲	『ショパンのエチュード、ワルツ、マズルカ、ノクターン』のいずれか、 または『フランス近現代（ドビュッシー／ラヴェル） の小品』より任意の1曲	
大学生・一般部門 （23歳以下）	5分以内 自由曲	『ショパン、リスト、ラフマニノフ、スクリャービン、 ドビュッシーのエチュード（練習曲）』より任意の1曲	

7. 表彰・特待生特典

本選（代官山スタジオ）での演奏を対象に、以下の賞およびディプロマコース受講費用の免除・割引特典を授与します。

■ 部門ごとに出選（特待生特典）

受賞者は、EYSピアノコンクール ディプロマコースへの受講資格を得るとともに、成績に応じた特待制度が適用されます。

ディプロマコースでは、国内外で活躍する演奏家・指導者による専門的な指導のもと、演奏技術だけでなく、音楽家として必要な総合的な能力を育成します。

【主なプログラム内容】

プログラム	内容	参考受講料
特別講師ピアノレッスン	60分・マンツーマン	60,000円／回
専属講師レッスン	60分・マンツーマン	20,000円／回
作曲講座	90分・グループ	12,000円／回
楽曲分析講座	90分・グループ	12,000円／回
音楽発信・動画制作講座	90分・グループ	12,000円／回

※ピアノレッスンは1レッスン単位で受講可能です。

※作曲講座・楽曲分析講座・動画編集講座は、90分のグループレッスンを月2回実施します。

※上記は一般受講時の参考受講料です。

受賞者はこれらのプログラムを通じて、コンクール後も継続的な育成支援を受けることができます。

【特待制度】

- EYS賞：ディプロマコース受講費用 全額無料（※別途条件あり）
- 金賞：ディプロマコース受講費用 50% OFF
- 銀賞：ディプロマコース受講費用 30% OFF
- 銅賞：ディプロマコース受講費用 20% OFF
- 奨励賞：ディプロマコース受講費用 10% OFF

※審査基準に達する該当者がいない場合は、各賞を選出しないことがあります。

※EYS賞には別途条件がございます。

また、EYS賞受賞者には、EYSピアノコンクールとのマネジメント契約を締結していただきます。

マネジメント契約は、将来性のある演奏家の活動を支援することを目的とし、受講料を全額免除する代わりに、演奏会・イベントへの出演、EYSオリジナル楽器の試演・レビュー、SNS・動画コンテンツでの情報発信、広報・プロモーション活動等にご協力いただくものです。

なお、活動内容は、受講生の年齢、学業および演奏活動の状況を考慮し、本人および保護者と協議のうえ決定します。

8. 選考・公開スケジュール（2026年）

- 2026年7月1日：公式ホームページ公開・エントリー受付開始
- 2026年7月15日：案内チラシ公開・配布開始
- 2026年9月15日：エントリー締切
- 2026年9月30日：一次審査（動画提出）締切
- 2026年10月11日：一次審査結果発表（Web）
- 2026年11月1日：二次審査（動画提出）締切
- 2026年11月15日：本選進出者 速報発表（Web）
- 2026年12月13日：本選（実地審査 於：代官山）
- 2026年12月14日：コンクール結果発表

9. 出願方法・事務局宛先

■ 出願に必要なもの

- 申込フォーム入力
- 演奏動画
- 審査料振込証明

【演奏動画の提出について】

演奏動画は、YouTubeへアップロードのうえ、「限定公開」設定にてご提出ください。

■ 提出方法

- ① 演奏動画をYouTubeへアップロードしてください。
- ② 動画の公開設定を「限定公開」に変更してください。
- ③ 発行された動画URLを、出願フォームへ記載してください。

■ 限定公開について

「限定公開」とは、URLを知っている方のみ閲覧可能となる公開設定です。
検索結果や一般公開ページには表示されません。

※「非公開」に設定された動画は、事務局側で確認できないため、審査対象外となります。

■ 動画提出時の注意事項

- 演奏開始から終了まで、編集・カットのないノーカット動画であること
- お辞儀は不要です。演奏開始から終了までを撮影してください
- 演奏者の「顔」「手元」「全身」が確認できる画角で撮影すること
- 2026年7月以降に撮影された動画であること
- 音声や映像が著しく不鮮明な場合、再提出をお願いする場合があります
- アップロード後は、本選終了まで動画を削除しないようお願いいたします

10. 注意事項

- 一度納入された審査料は、いかなる理由においても返金いたしかねます。
- 動画に編集の形跡が認められた場合、審査対象外となる場合があります。
- 規程の画角（顔・手元・全身）を満たしていない場合、審査対象外となる場合があります。
- 審査結果および講評内容に関する個別のお問い合わせには応じかねます。
- 一次・二次審査の講評は、後日PDF形式にて送付いたします。
- 出願をもって、上記内容に同意いただいたものとみなします。
- 本選会場における写真・映像は、主催者の広報活動（公式HP・SNS等）に使用する場合があります。出願をもってこれに同意したものとみなします。

■ お問い合わせ先

2026 EYSピアノコンクール事務局

Mail : competition@2nd-community.com

EYSピアノコンクール

ディプロマコース 募集要項

1. ディプロマコースとは

EYSピアノコンクール ディプロマコースは、国内外の主要コンクールでの活躍、音楽大学への進学、海外留学、そして将来的な演奏活動を目指す若きピアニストのための選抜制育成プログラムです。

本コースでは、単に演奏技術を向上させるだけではなく、音楽を深く理解し、自ら課題を発見しながら主体的に学び続ける力を育むことを目指しています。

第一線で活躍する演奏家・教育者による専門的な演奏指導に加え、作曲講座、楽曲分析講座、音楽発信・動画制作講座、演奏会出演など、多角的な学びの機会を提供します。

また、定期的な講師会議による成長評価や目標設定を通じて、一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、国際的な視野と確かな音楽的基礎力を備え、自ら学び続けながら未来を切り拓く演奏家の育成を目指します。

2. 募集・開講スケジュール

- 2026年 9月15日：エントリー締切
- 2026年 9月30日：一次審査（動画提出）締切
- 2026年10月11日：一次審査結果発表（Web）
- 2026年11月 1日：二次審査（動画提出）締切
- 2026年11月15日：本選進出者 速報発表（Web）
- 2026年12月13日：本選（実地審査 於：代官山）
- 2026年12月14日：コンクール結果発表（特待生・受講資格の確定）
- 2027年 1月：ディプロマコース 第1期 開講

3. コース内容

- レッスン回数：月1回～
- レッスン形式：原則として対面レッスン（体調不良等により対面受講が困難な場合は、講師が対応可能な場合に限りオンラインレッスンへ変更することがあります。）

- 主な学習内容
 - ・ディプロマコース特別講師によるピアノレッスン（マンツーマン）
 - ・ディプロマコース専属講師によるピアノレッスン（マンツーマン）
 - ・作曲講座（グループ）
 - ・楽曲分析講座（グループ）
 - ・音楽発信・動画制作講座（グループ）
 - ・演奏会出演機会

4.担当講師

EYSピアノコンクール審査員をはじめ、国内外で活躍する演奏家・教育者が指導を担当します。
担当講師は、受講生の年齢、演奏レベル、目標に応じて事務局が決定します。

5. 受講資格

本コースは、EYSピアノコンクール本選出場者および入賞者を対象とした特別選抜コースです。
ただし、コンクール未出場者であっても、受講を強く希望する場合には、演奏動画等による個別選考を実施し、受講を認める場合があります。

6. 特待生制度および受講費用

EYSピアノコンクールでは、優れた才能を持つ若い音楽家が、経済的な事情に左右されることなく学び続けられる環境づくりを目指しています。

ディプロマコースでは、各講座・レッスンを必要に応じて自由に受講することができ、コンクールの受賞成績に応じて受講料の割引が適用されます。

※受講料には、レッスン時のスタジオ利用料・グランドピアノ使用料を含みます。

講座	レッスン形態	受講料
ディプロマコース特別講師による ピアノレッスン	60分・マンツーマン	60,000円／回
ディプロマコース専属講師による ピアノレッスン	60分・マンツーマン	20,000円／回
作曲講座	90分・グループ	12,000円／回
楽曲分析講座	90分・グループ	12,000円／回
音楽発信・動画制作講座	90分・グループ	12,000円／回

コンクール受賞者特待制度（受講料割引）

下記の割引率が、上記すべての講座・レッスン受講料に適用されます。

区分	受講料割引
EYS賞	100%OFF（全額免除）
金賞	50%OFF
銀賞	30%OFF
銅賞	20%OFF
奨励賞	10%OFF

割引適用例

講座	通常料金	EYS賞	金賞	銀賞	銅賞	奨励賞
特別講師 レッスン	60,000円	0円	30,000円	42,000円	48,000円	54,000円
専属講師 レッスン	20,000円	0円	10,000円	14,000円	16,000円	18,000円
作曲講座	12,000円	0円	6,000円	8,400円	9,600円	10,800円
楽曲分析講座	12,000円	0円	6,000円	8,400円	9,600円	10,800円
音楽発信・ 動画制作講座	12,000円	0円	6,000円	8,400円	9,600円	10,800円

※EYS賞（受講料全額免除）について

EYS賞は、優れた音楽的才能を有し、かつ経済的支援が必要と認められた受講生を対象に、演奏審査および家計状況等を総合的に審査のうえ決定します。なお、家計状況の審査にあたっては、世帯年収600万円程度を一つの目安とし、課税証明書等の公的書類をご提出いただきます。

また、EYS賞受賞者には、EYSピアノコンクールとのマネジメント契約を締結していただきます。マネジメント契約は、将来性のある演奏家の活動を支援することを目的とし、受講料を全額免除する代わりに、演奏会・イベントへの出演、EYSオリジナル楽器の試演・レビュー、SNS・動画コンテンツでの情報発信、広報・プロモーション活動等にご協力いただくものです。

なお、活動内容は、受講生の年齢、学業および演奏活動の状況を考慮し、本人および保護者と協議のうえ決定します。

7.ディプロマ認定・修了制度

本コースでは、1年間の学習成果を総合的に評価するため、修了審査を実施します。

【修了要件】

以下のすべてを満たした受講生に対し、「EYSピアノコンクール ディプロマ」の認定を行います。

- 所定のレッスンを継続して受講していること
- 継続審査を通過していること
- 年間を通じて外部ステージへの挑戦実績があること
- 修了審査に合格していること

【修了審査】

修了審査では、受講期間中の成長度、演奏技術、音楽表現、舞台での実践力、学習への取り組み姿勢等を総合的に評価します。

【ディプロマ授与】

修了要件を満たした受講生には、「EYSピアノコンクール ディプロマ認定証」を授与します。

【修了演奏会】

修了認定者は、年間の成果を披露する修了演奏会へ出演することができます。

【継続受講資格】

修了者のうち、さらなる研鑽を希望する受講生については、講師会議および事務局審査を経て、次年度以降の上級プログラムまたは継続コースへの進級・継続受講資格が付与される場合があります。

【修了生特典】

ディプロマ修了生は、EYSピアノコンクールが主催する演奏会、マスタークラス、特別企画等において優先的に案内・参加機会を得られる場合があります。

8. 継続審査について

受講生の成長を継続的に支援するため、定期的な継続審査を実施します。

① 半年に1回の「実技・進捗審査」

演奏技術、音楽表現、課題への取り組み状況、受講姿勢などを総合的に評価します。

② 年に1回以上の「外部ステージ挑戦実績」

国内外のコンクール、演奏会、オーディション等への挑戦実績を確認します。

対象となるステージについては事務局が別途指定または承認します。

上記の審査を継続して満たしている場合、特待生区分は原則として維持されます。

9. 受講資格の更新について

継続審査の結果、著しい成長停滞が認められる場合や、外部ステージへの挑戦義務が果たされていない場合、または受講態度に著しい問題がある場合には、特待生区分の変更または一般コースへの移行をお願いする場合があります。

ただし、その後の成長や実績に応じて、再度ディプロマコースへの復帰申請を行うことが可能です。

10. レッスン欠席・振替について

受講生都合による欠席・キャンセルの場合、原則としてレッスンの振替や受講料の返金（日割り計算等）は行いません。ただし、講師都合や災害等による休講の場合は、別日程にて振替レッスンを行います。

11. 在籍期間について

在籍期間は原則1年間とします。

やむを得ない事情により途中退会を希望する場合は、事務局へご相談ください。

12. 免責事項

本コースは受講生の音楽的成長を支援する教育プログラムであり、特定のコンクールへの入賞、音楽大学への合格、海外留学の実現等を保証するものではありません。

しかしながら、受講生一人ひとりが高い目標に挑戦し続けられるよう、運営・講師陣が最大限の支援を行います。